

民事執行法の改正により入札時に
次の書面の提出が必要になりました。



暴力団員等に
該当しない旨の

陳 述 書

入札する日において発行後3か月以内の

住民票 資格証明書

(個人の場合)

(法人の場合)

宅地建物取引業の免許証のコピー

(宅地建物取引業者の場合)

※入札時に、入札書ごとに陳述書、住民票・資格証明書を提出しないと入札が無効になります。

※住民票・資格証明書は、入札する日において発行後3か月を超えるものを提出した場合、入札が無効となります。

※記載に不備があった場合、入札が無効になることがあります。

【入札方法に関する問合せ】

東京地方裁判所民事第21部（民事執行センター）執行官室不動産部

☎03-5721-6395

令和7年（ケ）第168号

注 意 書

売却対象物件は物件2（土地）及び物件3（建物）です。

現況調査報告書及び評価書には物件1（土地）に関する記載もありますが、今回の入札ではこの物件は売却対象ではありませんので、ご注意ください。

東京地方裁判所民事第21部

期 間 入 札 の 公 告

令和 7 年 11 月 5 日

東京地方裁判所民事第 21 部

裁判所書記官 出 崎 恵

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7 年 11 月 20 日 午前 9 時 00 分から 令和 7 年 11 月 27 日 午後 5 時 00 分まで
開札期日	日 時 令和 7 年 12 月 3 日 午前 9 時 30 分 場 所 東京地方裁判所民事執行センター売却場
売却決定 期日	日 時 令和 7 年 12 月 11 日 午前 11 時 00 分 場 所 東京地方裁判所民事第 21 部
特別売却 実施期間	令和 7 年 12 月 4 日 午前 9 時 20 分から 令和 7 年 12 月 8 日 午後 5 時 00 分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規 則 33 条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7 年 11 月 5 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和6年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
2, 3	8,440,000 6,752,000	一括	1,688,000	24,946	5,344
2	1,390,000				
3	7,050,000				
				</	

物 件 目 録

2 所 在 葛飾区西水元三丁目
地 番 1374 番 3
地 目 宅地
地 積 32.72 平方メートル

3 所 在 葛飾区西水元三丁目 1374 番地 3、1373 番地 3
家屋 番号 1374 番 3
種 類 居宅
構 造 木造瓦葺 2 階建
床 面 積 1 階 43.88 平方メートル
2 階 37.26 平方メートル

(現況)

構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺 2 階建



物 件 明 細 書

令和 7 年 10 月 10 日

東京地方裁判所民事第 21 部

裁判所書記官 出 崎 恵

1 不動産の表示

【物件番号 2, 3】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

【物件番号 3】

売却対象外の土地（地番 1373 番 3）につき、本件建物のために法定地上権が成立する。

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号 2, 3】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号 3】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実とそれに基づく法律判断に関して、執行裁判所の裁判所書記官の一応の認識を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があ

ります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。

- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。このほか、B I Tシステムのお知らせメニューにも掲載されています。



11

物 件 目 録

2 所 在 葛飾区西水元三丁目
地 番 1 3 7 4 番 3
地 目 宅地
地 積 32.72 平方メートル

3 所 在 葛飾区西水元三丁目 1 3 7 4 番地 3、1 3 7 3 番地 3
家屋 番号 1 3 7 4 番 3
種 類 居宅
構 造 木造瓦葺 2 階建
床 面 積 1 階 43.88 平方メートル
2 階 37.26 平方メートル

(現況)

構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺 2 階建



令和7年(ケ)第168号
令和7年6月17日受理
令和7年7月4日提出
(評価人 有沢範芳)

現況調査報告書

東京地方裁判所
執行官 御 供 英一郎 (印)

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 葛飾区西水元三丁目 |
| | 地 番 | 1 3 7 3 番 3 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 5 3. 3 1 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 葛飾区西水元三丁目 |
| | 地 番 | 1 3 7 4 番 3 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 3 2. 7 2 平方メートル |
| 3 | 所 在 | 葛飾区西水元三丁目 1 3 7 4 番地 3、1 3 7 3 番地 3 |
| | 家屋 番号 | 1 3 7 4 番 3 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造瓦葺 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 4 3. 8 8 平方メートル
2 階 3 7. 2 6 平方メートル |



不動産の表示		「物件目録」のとおり	
住居表示		葛飾区西水元三丁目14番16号	
土地		物件1、2	
現況地目	☒ 宅地（物件1、2） ☐ 公衆用道路（物件 ）		
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐		
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し占有している。 ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の建物（目的外建物）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）		
その他の事項			
建物		物件3	
種類、構造及び床面積の概略	☐ 公簿上の記載とほぼ同一である ☒ 公簿上の記載と次の点異なる（ ☒ 主たる建物 ☐ 附属建物） ☐ 種類： ☒ 構造：木造亜鉛メッキ鋼板葺2階建 ☐ 床面積：		
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある 種類： 構造： 床面積：		
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を居宅として使用している（ただし、3、4枚目のとおり） ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の敷地（目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）		
その他の事項			
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある 地方裁判所 支部 平成 年（ ）第 号 保管開始日 平成 年 月 日		
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(2 枚目)

関係人の陳述等	
陳 述 者 (当事者等との関係)	陳 述 内 容 等
A (所有者)	私は、本件物件の所有者です。本件建物には、私が居住しています。本件建物の室内は、室内全体に物などが多量に積み上がっている状態です。本件建物の間取りは、この建物間取図（7枚目と同じ内容のもの）のとおりです。 (令和7年6月26日面接聴取)

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(3 枚目)

執行官の意見

- 1 本件物件の現況は、土地建物位置関係図、建物間取図及び添付写真のとおりである。
- 2 本件建物の室内については、所有者が述べるとおり（3枚目参照）、玄関から各部屋等（全体）につき物などが多量に積み上がっている状態であった。所有者の同意を得た上で、積み上がっている物などの上に乗るなどして、玄関から各部屋等を確認したが、物などで見えない床や壁などの部分については目視できていないので注意されたい（写真2のとおり、浴室は物でいっぱいの状態で浴槽も含め目視はできなかった）。本件建物の間取りに関しては、3枚目のとおり、7枚目と同じ内容の建物間取図（目視できる範囲と外観等から推認したもので作成した建物間取図の下書）を提示したところ、所有者はその間取図のとおりである旨を述べた。
また、本件土地の南側部分（通常であれば、駐車スペースとして利用する部分）にも、物などが積み上がっている状況であった。
- 3 本件建物の占有関係については、関係人の陳述及び現場の状況等から、2枚目のとおり所有者が占有しているものと認めた。

調 査 の 経 過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和7年6月18日 7:55-8:05	物件所在地	物件調査、占有調査、写真撮影、臨場日時通知書及び占有関係照会書差置
令和7年6月26日 8:25-8:45	物件所在地	物件調査、占有調査、写真撮影、評価人同行、立入調査、所有者に面接聴取

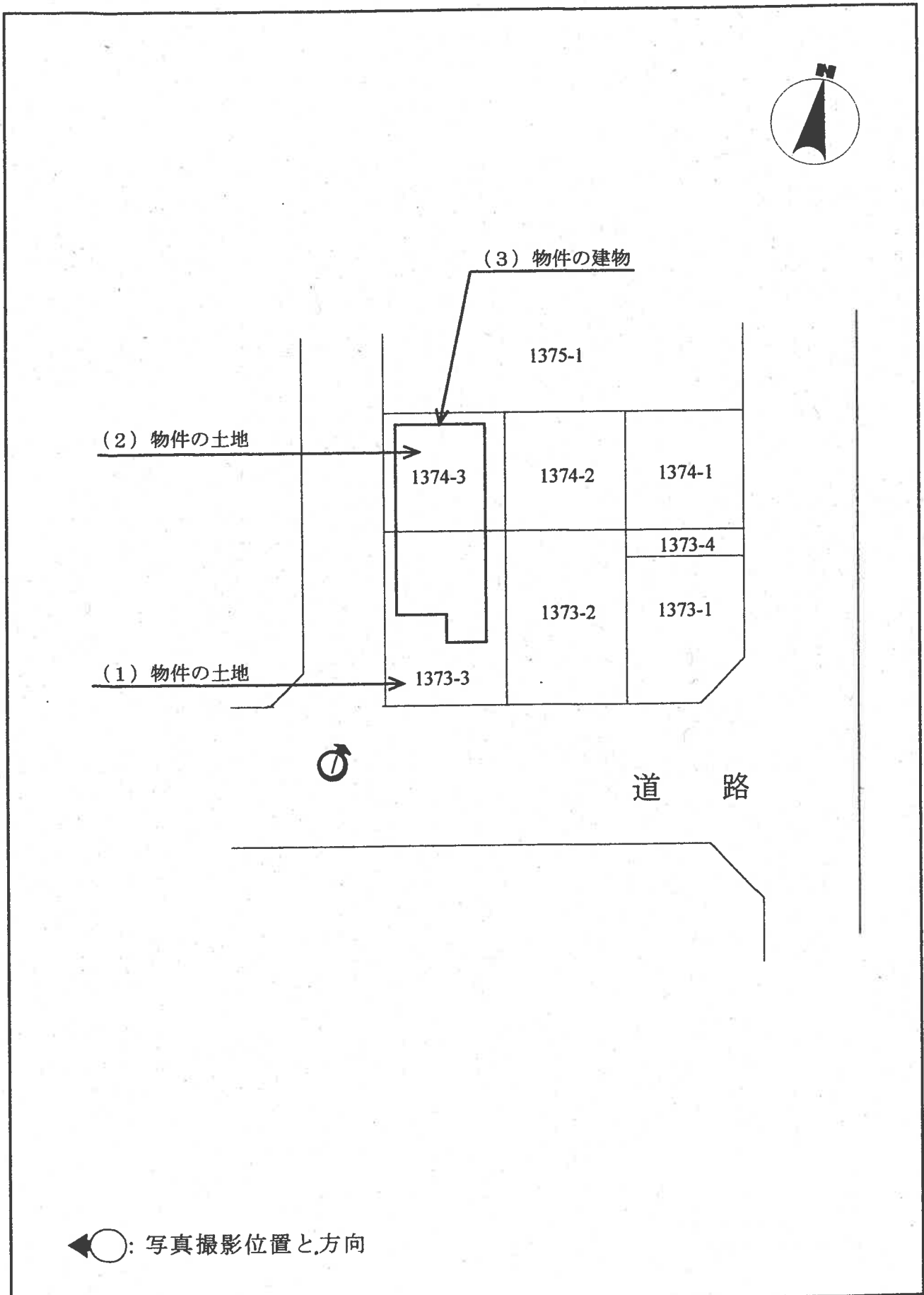
(特記事項)

☒ 令和7年6月26日
目的物件が不在で施錠されている場合に備え、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。

☐ 令和 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち合わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。

☐ 令和 年 月 日
休日・夜間執行許可の提示をした。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(5 枚目)

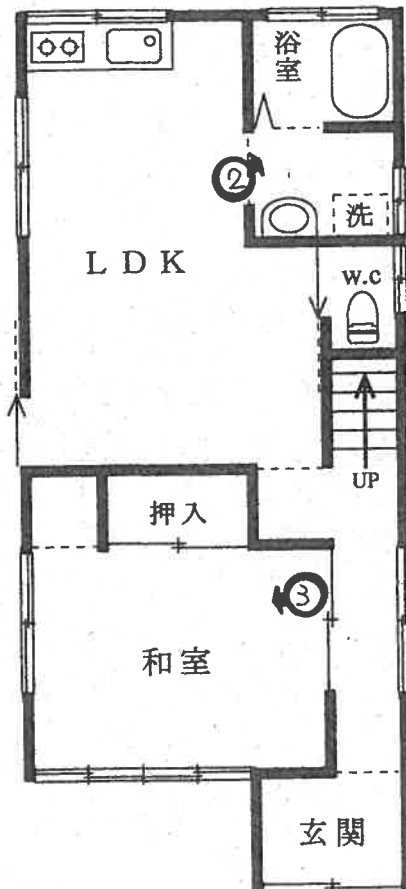


建物間取図

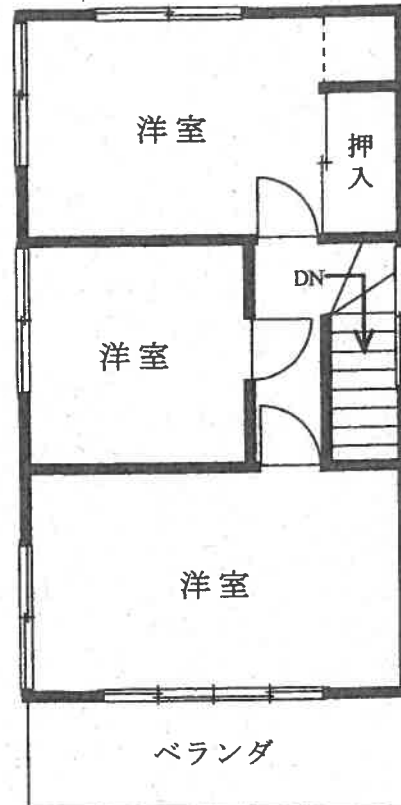
令和7年(ケ)第168号



1 階



2 階



◀○: 写真撮影位置と方向

(7 枚目)

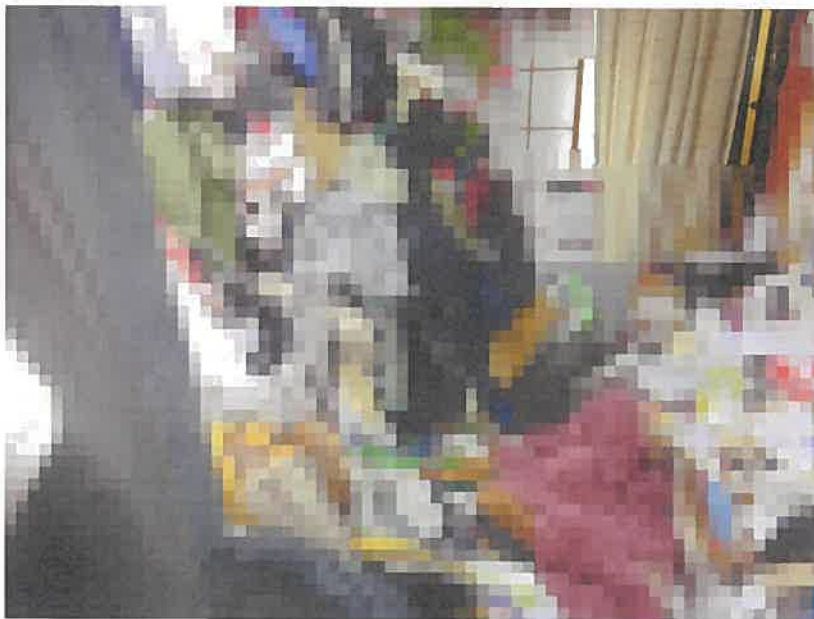
1



2



3



(8 枚目)

意見書

令和7年9月30日

東京地方裁判所 御中

評価人 有 沢 範 芳

先に提出しました令和7年(ケ)第168号に関する評価書について、次のとおり申し上げます。

記

物件1～3のうち物件2及び3を個別に売却する場合の評価額は次のとおりとなります。

＜個別売却を前提とした評価額＞（評価書8頁、2・②を変更）

② 評価額

物件 番号	基礎となる価格 (円) ア	土地利用権等価 格の控除及び加 算 (円) イ	占有減 価修正 ウ	市場性 修正 エ	競売市場修 正 オ	評 価 額 (円) カ
2	(6,190,000	－4,020,000)		×0.8	×0.8	=1,390,000
3	(440,000	＋10,570,000)	×1.0	×0.8	×0.8	=7,050,000

ア 基礎となる価格：評価書参照

イ 土地利用権等価格：評価書参照

ウ 占有減価修正：評価書参照

エ 市場性修正：個別売却により土地の一部が建物と別々になるが、土地利用権等については不確定要因があることから市場性が劣ると判断される。よって各物件とも－20%の市場性修正を行った。

オ 競売市場修正：評価書参照

以 上

令和7年(ケ)第168号
令和7年6月26日 現地調査
令和7年7月9日 評価

東京地方裁判所 御中

評 価 書

評価人 有 沢 範 芳

第1 評価額

一括価格	
金 13,370,000 円	
内訳価格	
物件1（土地）	金 2,820,000円
物件2（土地）	金 1,740,000円
物件3（建物）	金 8,810,000円

- 1 一括価格は、物件1乃至3の各不動産について、一括売却(民事執行法61条本文)を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1、2の内訳価格は物件3のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件3の内訳価格は、当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は、内覧制度によるほかは物件の内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて評価するものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番 号	所 在 等	登 記	現 況
1	次頁物件目録記載のとおり		
2			
3			<住居表示> 葛飾区西水元 3 - 1 4 - 1 6 <構造> 木造亜鉛メッキ鋼板葺 2 階建
番 号	特 記 事 項		
	特になし		

※ 現況欄に記載のない事項については、登記記録とほぼ同じである。

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--------------------------------------|
| 1 | 所 在 | 葛飾区西水元三丁目 |
| | 地 番 | 1 3 7 3 番 3 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 53.31 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 葛飾区西水元三丁目 |
| | 地 番 | 1 3 7 4 番 3 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 32.72 平方メートル |
| 3 | 所 在 | 葛飾区西水元三丁目 1 3 7 4 番地 3、1 3 7 3 番地 3 |
| | 家屋 番号 | 1 3 7 4 番 3 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造瓦葺 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 43.88 平方メートル
2 階 37.26 平方メートル |

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等(物件1、2)

位 置 ・ 交 通	J R 常磐線「亀有」駅の北東方約3.4km(道路距離)、路線バス「幸田小学校」停留所の南西方約240m(道路距離、徒歩約3分)、葛飾区西水元3丁目14番街区に位置している。(附属資料「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	戸建住宅、共同住宅、事業所等が混在する住宅地域。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分 用途地域 建 ぺ い 率 容 積 率 防 火 規 制 その他の規制	市街化区域 第二種低層住居専用地域 50% (指定) 150% (指定) 準防火地域 第1種高度地区、建物の高さの最高限度12m、土地区画整理事業を施行すべき区域(都市計画法第53条の規制)
画 地 条 件	地 積 形 状 間 口 ・ 奥 行 地 勢	物件1 53.31m ² 物件2 32.72m ² 計 86.03m ² ほぼ長方形 間口約6m、奥行約14.5m 平坦
接 面 道 路 の 状 況 等	南側が幅員約7mの区道(建築基準法第42条1項1号該当)に接面している。また西側で幅員約4mの私道に接面しているが、当該私道は建築基準法の道路ではない。	
土地の利用状況等	物件3の建物敷地として利用されている。建物の配置は附属資料建物図面・各階平面図写のとおり。	
供 給 処 理 施 設	上 水 道 ガ ス 下 水 道	あり あり (対象物件は使用していない) あり
供給処理施設における「あり」とは、前面道路に該当施設の本管(以下、施設管という)が通っていることをいう。「なし」とは、同様に、施設管が通っていないことをいう。「不明」とは、前面道路に施設管が通っているか否かが確認出来ない場合をいう。		
特 記 事 項	葛飾区の「洪水ハザードマップ」によると、浸水が想定される区域に所在している。	

2 建物の概況及び利用状況(物件3)

区 分	主 である 建 物	
建築時期及び経済的残存耐用年数	建築年月日(登記記載) 経 過 年 数 経済的残存耐用年数	昭和55年7月1日新築 約45年 経過済み
仕 様	構 造 外 壁 内 壁 天 井 床 設 備 そ の 他	木造亜鉛メッキ鋼板葺2階建 鋼板張り等 ビニールクロス、京壁等 ビニールクロス、杉柾化粧ボード、石膏ボード等 板張り、畳、カーペット等 キッチン、浴室、プロパンガス、洗面、トイレ等 特になし
床面積(現況)	1階 2階 延	43.88㎡ 37.26㎡ 81.14㎡
現 況 用 途 等	現 況 用 途 間 取 り	居宅 4LDK
品 等	普通	
保守管理の状態	劣る	
建物の利用状況	自用	
特 記 事 項	建物の内部は、物などが山積されており、室内間の移動が困難な状況にあった。壁、天井の仕様、リビングの床の一部は確認できたが、物が乱雑に山積されていたため、居室の床については目視では確認できず、所有者からの聴取に拠った。	

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

① 物件1、2（土地）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

物件 番号	更地価格		地 積 (㎡)	建付減価	建付地価格 (円)
	標準画地価格 (円/㎡)	個別 格差			
	ア	イ	ウ	エ	オ
1	206,000	× 1.02	×53.31	× 0.90	= 10,080,000
2			×32.72		= 6,190,000

総額（円）については、万円未満四捨五入とした（以下同じ）。

ア 標準画地価格： 下記規準価格を中心に、その他の価格資料等を斟酌して地域の標準画地の価格を求めた。なお標準画地は、近隣地域において土地の概況（間口・奥行、規模等）等が標準的な中間画地を想定した。

$$\begin{array}{ccccccc}
 \text{基準地} & \text{(葛飾-7)} & & & & & \\
 \text{(公示価格等)} & \text{(時点修正)} & \text{(標準化補正)} & \text{(地域格差)} & \text{(規準価格)} & & \\
 174,000 \text{ 円/㎡} & \times 104 / 100 & \times 100 / 100 & \times 100 / 88 & = & 206,000 \text{ 円/㎡} & \\
 & & & & & \text{(上三桁未満四捨五入)} &
 \end{array}$$

時点修正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

標準化補正：公示地等は、標準的画地で補正なし。

地域格差：公示地等が所在する地域は対象地域と比較して、環境条件及び行政的条件で劣っていることを考慮して査定した。

イ 個別格差：角地ではないが、西側で私道に面していることを考慮して査定した。

ウ 地 積：登記数量による。

エ 建付減価：建物と敷地との適応の状態等を考慮して判定した。

② 物件 3（建物）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

物件 番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現 価 率 ウ	建物価格 (円) エ
3	180,000	×81.14	× 0.03	= 440,000

ア 再調達原価：対象建物の現状の使用資材、施工の程度等を観察し、その仕様の標準的な原価を採用した。

イ 現況延床面積：登記数量による。

ウ 現価率：建物の経済的残存耐用年数は既に経過済みである。よって本件では観察により現価率を3%と査定した。

2 評価額の判定

前記により求めた価格を基に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を決定した。

① 土地利用権等価格

物件 番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) ウ
1	10,080,000	× 0.65	法定地上権	= 6,550,000
2	6,190,000	× 0.65	法定地上権	= 4,020,000
合 計				10,570,000

ア 建付地価格：前記1①

イ 土地利用権等割合：売却により法定地上権が成立するものと解される。法定地上権割合は、近隣における借地権の取引慣行、課税上の割合等を参考に、建物の性質、地上権としての特性等を勘案して、上記のとおり判定した。

② 内訳価格及び一括価格

物件 番号	基礎となる価格 (円) ア	土地利用権等 価格の控除及び 加算 (円) イ	占有減 価修正 ウ	市場性 修正 エ	競売市場 修正 オ	評価額 (円) カ
1	(10,080,000	－6,550,000)		× 1.0	× 0.8	= 2,820,000
2	(6,190,000	－4,020,000)		× 1.0	× 0.8	= 1,740,000
3	(440,000	+10,570,000)	×1.0	× 1.0	× 0.8	= 8,810,000
一括価格 (合計)						13,370,000

ア 基礎となる価格：前記1①、②

イ 土地利用権等価格：前記2①

ウ 占有減価修正：必要なし。

エ 市場性修正：必要なし。

オ 競売市場修正：「第2評価の条件」欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮して修正を行った。

第6 参考価格資料

東京都基準地価格 (葛飾－7)

所 在 : 葛飾区西水元3丁目574番3 「西水元3－20－9」
価 格 : 174,000 円/㎡
位 置 : 「亀有」駅、3.7km(道路距離)
価 格 時 点 : 令和6年7月1日
地 積 : 100㎡
供給処理施設 : 水道、ガス、下水
接 面 街 路 : 北7m区道
用途指定等 : 第一種低層住居専用地域(建ぺい率50%、容積率100%)、準防火地域
地域の概要 : 住宅、アパートのほかに畑地も見られる住宅地域

第7 附属資料

位置図

公図写

地積測量図写

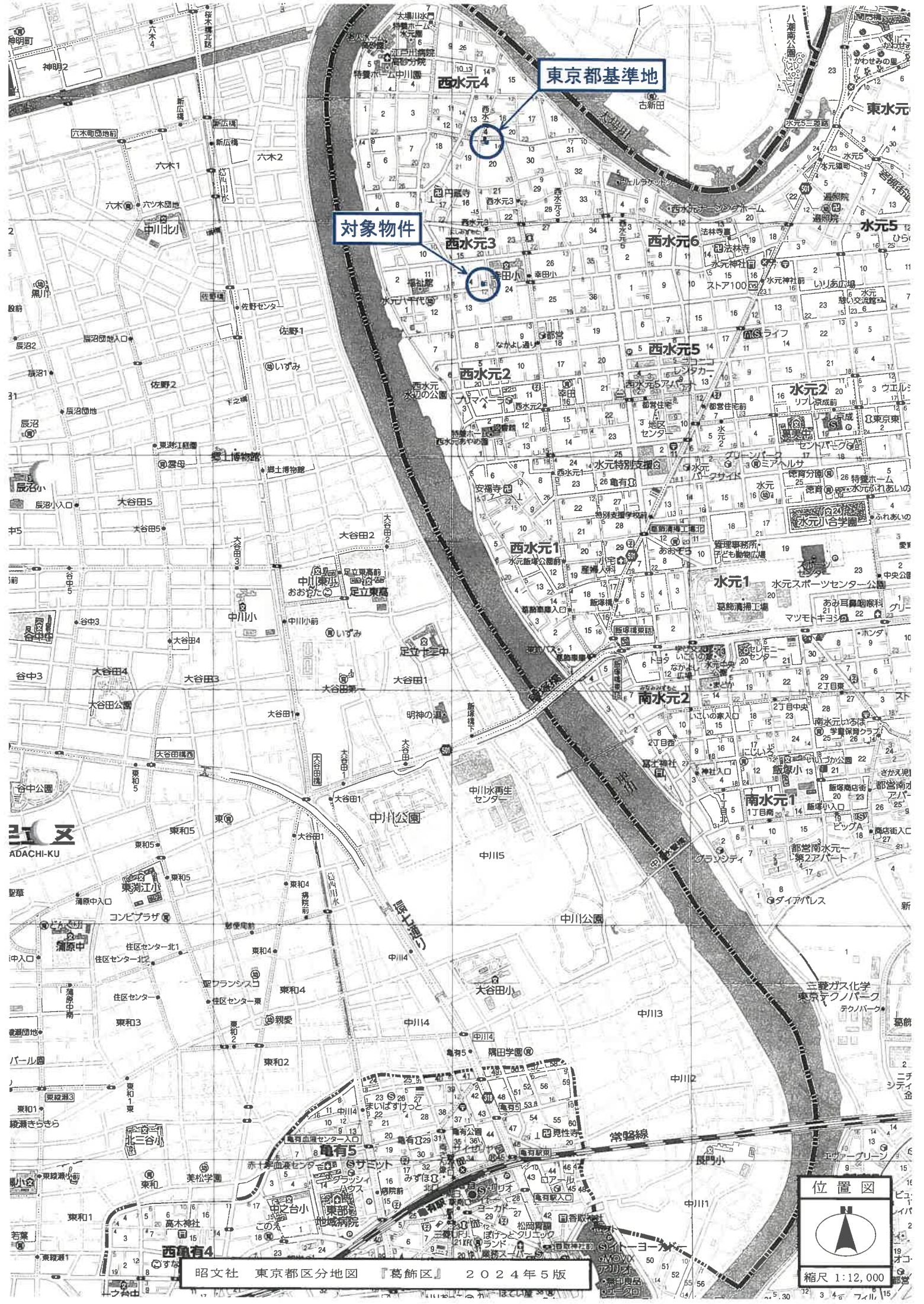
建物図面・各階平面図写

以上

令和7年7月9日

評価人 不動産鑑定士

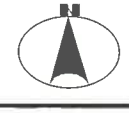
有 沢 範 芳



対象物件

東京都基準地

位置図



縮尺 1:12,000

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和7年3月10日 東京法務局城北出張所

登記官

1373

地積測量図

地番	1373番1区画之図
土地の所在	葛飾区水元猿町

西水元3丁目



地積求積 (M²)

(A)	373-1	
(B)	373-2	$155.37 - (B) + (C) = 48.2247$
(C)	373-3	$1281 \times (498 + 498) \times \frac{1}{2} = 538338$
		$1277 \times (495 + 495) \times \frac{1}{2} = 533115$

水路

物件1

昭和54年6月6日

境界石

この図面はA3サイズをA4サイズに縮小したものです

作製者

申請人

昭和54年10月30日作製

縮尺

631635

1/250

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和7年3月10日 東京法務局城北出張所

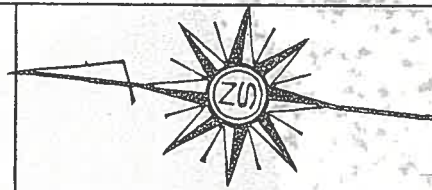
登記官

374

地積測量図

地番	1374番1同番之図番3
土地の所在	海老名区水元猿俣町

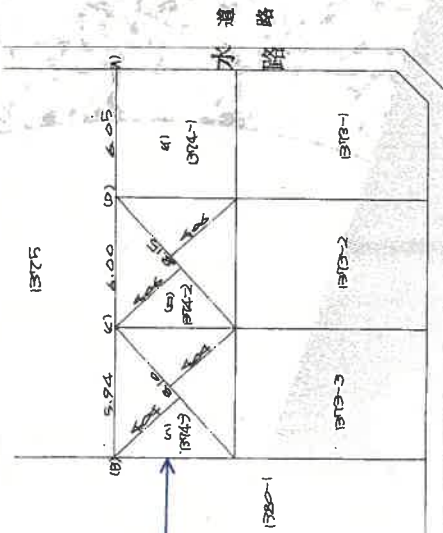
西水元3丁目



地積求積 (M²)

(A) 1374-1	$98.17 - (40.41) = 33.3570$
(B) 1374-2	$8.15 \times (4.06 + 4.06) \times \frac{1}{2} = 33.0890$
(C) 1374-3	$8.10 \times (4.04 + 4.04) \times \frac{1}{2} = 32.7240$

物件2



この図面はA3サイズをA4サイズに縮小したものです

(昭和54年10月30日作製)

申請人

631637

作製者

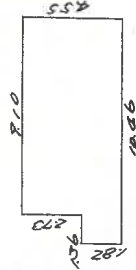
縮尺 1/250

554.11.6

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和7年3月10日 東京法務局城北出張所 登記官

各階平面図

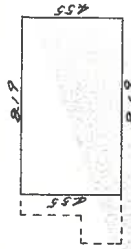
1 階平面図



床面積求積(M²)

8.10 × 4.55	=	36.8550
4.55 × 1.02	=	4.6410
		41.4960

2 階平面図



床面積求積(M²)

8.19 × 4.55	=	37.2645
-------------	---	---------

建物図面

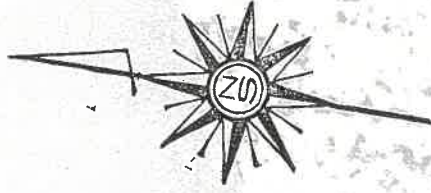
家屋番号

13744番

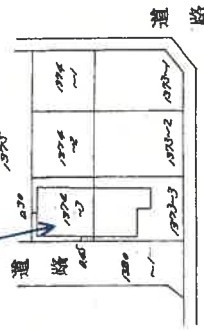
建物の所在

東京都中央区千代田1-13-13番地

西水元3丁目



物件3



道路

昭和五十五年九月参日

この図面はA3サイズをA4サイズに縮小したものです

作製者

縮尺 1/250

申請人

縮尺 1/500

853599